

今こそ埋め立て承認撤回を！

国際連帯・ジュゴン訴訟で
辺野古埋め立てを止めよう！



今、辺野古の海が護岸で囲まれていきます。
(2018年5月段階)

2003年撮影 15年前の辺野古

大潮の干潮時。水深は50cm程度
海底の砂地で海草が揺れています
ここはジュゴンのえさ場です

政府は8月の土砂投入に向け、辺野古護岸工事を進めています。しかし環境アセスメント評価書がもとめるウミクサ保全策は全く実行されていません。サンゴをはじめとする環境保全策も無視されたままです。ジュゴン個体Cは行方不明です。土砂投入をなんとしても止めましょう！

6月28日にはジュゴン訴訟が結審します。ウミクサ保全策および「利害関係者」(名護市、沖縄県など)との協議と合意が図られているかを連邦地裁がどう判断するかが焦点です。

だからこそ知事の早期の「承認撤回」がカリフォルニア連邦地裁でのジュゴン訴訟を勝利させ、辺野古撤回への展望をつくります。これが11月知事選勝利にとっても大切です。

早期の「承認撤回」から埋め立てを止めるために何をするか、議論を深めます。ぜひみなさまの参加をお待ちしております。

日時：7月29日(日)

9:30 開会 12:00 閉会

場所：エルおおさか 研修室1(5階)

プログラム

- ・海勢頭豊(音楽家・SDCC代表) あいさつ
「県知事選に向けた情勢とジュゴン保護」
- ・基調 「埋め立て承認撤回から辺野古新基地建設を止めよう」
- ・討議 承認撤回からジュゴン訴訟勝利、埋め立て工事中止、知事選勝利におけた方針
- ・参加者からの報告

